

# みんなのた場

## サークル仲間

### 笑いが絶えない集會 地域ぐるみで元気に

木よう会(北村・大沢地区)

河南・北村の大沢地区住民でつくる「木よう会」(佐々木愛子会長)には、地域の60〜90代の男女約30人が参加しています。サークル名は、月に一度、第2木曜日に集うことから「活動日を忘れないようにしましょう」と決めました。

せ、さまざまな動きを交えながら手足を動かす脳のトレーニング(脳トレ)運動などで心身をほぐした後、玉入れや新聞の折り込みチラシをその場で破いて作った即席のジグソーパズルなどのゲームをグループ対抗でしました。

いずれも簡単な運動と脳トレを取り入れたもので、会員は終始、楽しみながら活動。「うまくいったら笑い、間違っても笑ってごまかしましょう」の合言葉通

り、にぎやかな笑い声が絶えない時間となっています。会の発足は平成29年4月です。高齢化時代を明るく元気に地域ぐるみで過ごしていこうと結成しました。佐々木会長は「定期的に集まって、楽しい時間を過ごすことが一番。心身の健康のため、息の長い活動にしていきたいですね」と話します。地域の見守り活動も兼ねている点も重要です。



元気な笑顔が集う木よう会の仲間



楽しみながらの脳トレ、筋トレ

**62 長寿のひけつ**

**怒らねばハッピー**

志田 英七さん 100歳(桃生町神取)

志田英七さんは大正8年3月27日、旧桃生町太田で今野家の7人兄弟の第6子として生を受けました。桃生郡立農事講習所(現在の石巻北高校)を卒業後、米の検査員として忙しい毎日を送りました。

縁あって同じ桃生町の志田サキコさんと結婚、志田家の婿養子に迎えられるました。仕事に精を出す一方、家庭生活も円満で1男1女を得ました。6年前、88歳で天寿を全うしたサキコさんとは仲むつまじく暮らしました。現在も引き続き、長男家族と同居しています。孫は3人、ひ孫は5人おり、その健やかな成長を見守っています。

最近はやや足腰が弱ってきましたが、家の中は自力で移動し、デイサービスにも週に2回、積極的に通うな

ど心身の健康を保つ努力を続けています。

好物は魚と甘いもの。3食をきちんと食べます。家族の呼び掛けには笑顔で応じています。性格は温厚。家族は「怒りを露わにすることはなく、焦らずマイペース」と話し、ストレスを上手にかわしているのが長生きの要因のようです。



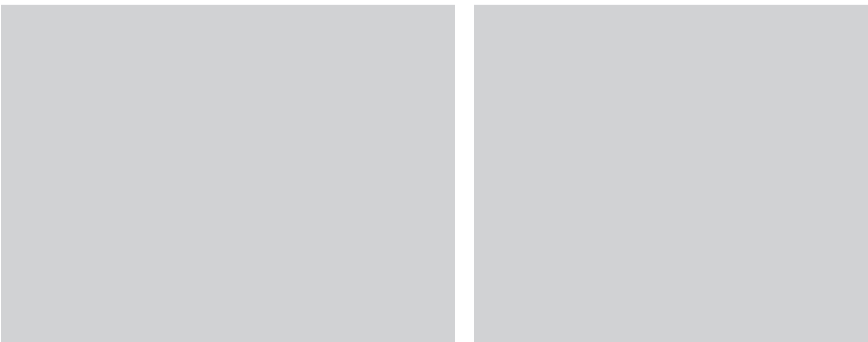
**食育推進コーナー**

**<食生活改善推進員連絡協議会石巻分会 合同研修会(地産地消研修会)>**

地産地消の推進と会員の交流を図るため、2月に研修会を実施しました。石巻産ワカメと小ネギのあえ物や地元で水揚げされたサバを使用した和風ハンバーグなど4品を調理し、情報交換をしながら試食しました。

今回の内容を参考に、地元の豊かな食材を生かした食育活動に積極的に取り組んでいきます。

健康推進課 (内線 2617)



石巻市立桜坂高等学校

**桜坂だより** 第6号

こんにちは。桜坂高校です。わたしたちは、石巻専修大学の先生や学生の皆さんとソフトバンクからお借りしている pepper を使って、地域に貢献できる内容のアプリを開発しています。今回は、昨年の活動の様子や学校で pepper がどのように活用されているか紹介します。

**活動の様子**

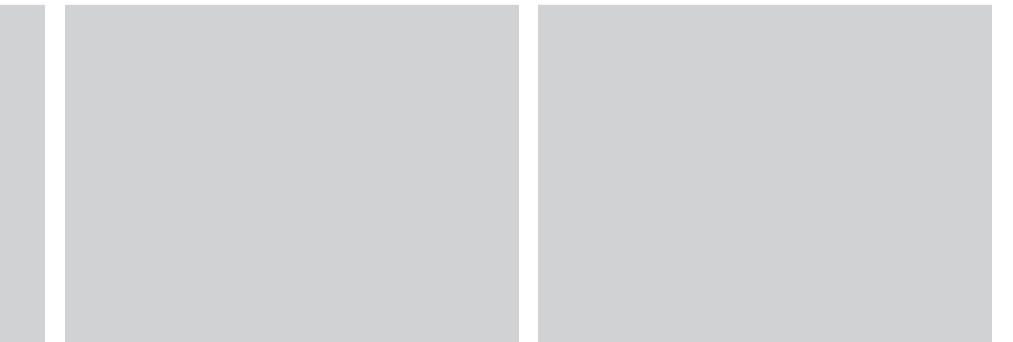
月1回集まって、石巻専修大学の先生からアドバイスをもらいながら、意見を出し合います。

**ひがしまつしま食ベメッセ**

昨年11月に行われた「ひがしまつしま食ベメッセ」に参加し、石巻市の特徴ある食べ物について発表してきました。

**あいさつ運動**

毎週金曜日に行っている生徒会のあいさつ運動にpepperも参加し、生徒と一緒に「おはようございます」と声掛けをしています。



# 北上 白浜に日帰りキャンプ場

## Topic of town まちな話題



新たな観光拠点開園



白浜海水浴場背後地に整備された日帰りキャンプ場「白浜ビーチパーク」が4月1日に開園し、現地で3日、記念式典がありました。地域の観光復興拠点として期待されます。敷地は約1万4700平方メートル。このうちキャンプ場は約6000平方メートルの芝生敷きで、ピクニックやバーベキュー、芋煮などが楽しめます。昨年7月に本格オープンした白浜海水浴場と兼用のトイレ、あずまや、食材などの洗い場があります。開園期間は4月から11月末です。

# 河北 鎮魂の広場に 慰霊の桜植樹

# 石巻 青い光 自閉症への理解啓発

エドヒガンザクラ101本

大川の間垣地区にある慰霊碑付近に整備した「間垣さくら広場」で3月10日、桜の植樹会がありました。元住民やボランティアなど約170人が、エドヒガンザクラの苗木101本を植えました。苗木はNPO法人さくら並木ネットワーク（東京）から提供を受けました。間垣慰霊碑保存会の木村清勝会長は「慰霊の桜として末永く育て、地区の憩いの場所にしたい」と話しました。



石ノ森萬画館ライトアップ

石ノ森萬画館が4月2～8日、青色にライトアップされました。国連の世界自閉症啓発デー（4月2日）に合わせ、ライト・イット・アップ・ブルー in 石巻実行委員会が主催。シンボルカラーの光で、自閉症に関する正しい知識と理解の普及を図りました。萬画館1階市民交流コーナーでは萬画館のイラストを描いたり、クリニカルアート（臨床美術）を展示したりするワークショップも開かれました。



# 河南 新しい友達 部活動も楽しみ

# 雄勝 より地域密着の防犯拠点に

新中学1年、入学前に交流会

河南東中学校に入学する新1年生の交流会が3月24日、同校講堂でありました。和渕、鹿又、須江の3小学生28人が参加し、自己紹介や入りたい部活動などを発表しました。初めての顔合わせでしたが、ドッジボールとフリスビーを組み合わせた「ドッジビー」などのゲームを通じて打ち解け、新たな学校生活に希望を膨らませました。河南西中学校でも23日に交流会が行われました。



新雄勝駐在所が落成

東日本大震災の津波で流出した河北警察署雄勝駐在所が移転新築され、雄勝町下雄勝の現地で4月3日、落成式が行われました。震災前、雄勝駐在所は上雄勝地区にあり、被災後は船越駐在所と併設した仮庁舎を雄勝総合支所仮庁舎隣に設置していましたが、新たな駐在所の完成に伴い両所は統合し、新雄勝駐在所として雄勝中心部地区拠点エリアの高台（海拔20メートル）に建設され、所員2人が勤務。これまで以上に地域に密着した防犯拠点の役割が期待されます。



# 牡鹿 行政サービスの窓口復活

# 桃生 地域の魅力発見セミナー

総合支所大原出張所が開所

東日本大震災で被災した牡鹿総合支所大原出張所が新築され、大原浜の現地で4月10日、開所式が行われました。旧出張所があった場所を約7メートルまでかさ上げして建設され、市民生活課の職員4人が交代で2人ずつ常駐し、戸籍や住民票、印鑑証明書などの発行や税に関する業務を行っています。約30人が出席した開所式で、亀山市長は「身近な行政サービスの窓口として、住民に利便性を実感してほしい」と話しました。



もう夢ネットワーク

3月27日に桃生総合支所でももう夢ネットワークによる「地域の魅力発見セミナー」が開催されました。大崎市池月センターの高橋一夫氏を講師として招き、池月地区が8年にわたって活動してきたお助け隊による支え合い事業の取り組みについての講話が行われました。セミナーには、桃生地区住民16人が参加し、地域の諸課題解決や活性化へ向けてたくさんの質問や意見が飛び交いました。

